

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2024年度)

専門分野区分	デザイン・作画技法	科目名	デッサンⅡ				科目コード	D0500A1		
配当期	後期	授業実施形態	通常				単位数	4 単位		
担当教員名	岡 栄子	履修グループ	1K(DG/DW/MA)				授業方法	演習		
実務経験の内容	美術大学卒業後ジュエリーデザイナーの仕事を中心に、テキスタイルや紙媒体のDM制作等、多種多様なデザイン業務に携わる。 デッサン・色彩やジュエリーの講師業を経験、企画製品および完全オーダーの逸品を数多く手掛ける。 これまでの様々な実務経験を軸に、表現の基礎となるデッサン指導を行う。									
学習一般目標	デッサンを通して基礎となる描画力を上げ、表現するための土台を築く。 三次元のことを二次元でどう扱えばいいのかを知る。 対象を丁寧によく見ることで、観察眼、集中力を養い、多角的な捉え方を身につける。									
授業の概要および学習上の助言	デッサンはまず観察することから始まります。 興味が「ある」「無い」に関わらず、対象がなにであっても必ず必要になってくるスキルでもあります。 木を見て森を見ずという言葉がありますが、どちらに偏ってもバランスよく進みません。 木、森、また木に戻るというように繰り返し距離感を変えながら観察し、手を動かしてみる。 デッサンは「描く」というだけではなく、自分の日常生活に置き換えることもできる行動だと捉えると面白いのではないのでしょうか。									
教科書および参考書	『静物デッサンテクニック』誠文堂新光社 『アーティストのための美術解剖学』 マール社									
履修に必要な予備知識や技能	描く大前提として持ち物は忘れず準備しておくこと。 道具が揃って内容がよければパフォーマンスアップにつながります。									
使用機器	鉛筆(推奨: 3H・H・HB・B・3B 各1本以上)、消しゴム、練消しゴム、カッターナイフ、スケール、目玉クリップ、削りカス入れ簡易ゴミ箱、クロッキー帳 ※課題によっては水彩絵の具									
使用ソフト										
学習到達目標	学部DP(番号表記)	学生が到達すべき行動目標								
	1	モチーフの方向性を考えて置くことができる。								
	1	空間、形を理解し画面に展開出来る。								
	1	陰影により、立体や質感を表現出来る。								
	1	軸や構造を理解し表現、また見直しが出来る。								
	5	講義と実習において、意欲を持って取り組む事が出来る。								
達成度評価	評価方法	試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計	
	学部DP	1.知識・理解					80			80
		2.思考・判断								
		3.態度								
		4.技能・表現								
		5.関心・意欲							20	20
	総合評価割合						80		20	100

評価の要点

評価方法	評価の実施方法と注意点
試験	
小テスト	
レポート	
成果発表(口頭・実技)	
作品	授業内で制作する作品を提出する。 課題に対する理解度と完成度から評価を行う。 ※立体表現、描きこみに特に注意。
ポートフォリオ	
その他	授業に対する姿勢や課題に対する取り組み。出席状況。

授業明細表

授業回数	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)
第1回	【模写】足	講義・実習	『アーティストのための美術解剖学』を持参。
第2回	【模写・デッサン】りんご	講義・実習	『静物デッサンテクニック』を必ず持参。
第3回	【風景スケッチ】	講義・実習	レジャーシート・帽子・水筒 他 ※必ず描いている風景の写真 を撮影すること。 →課題解決型授業②で完成。
第4回	【立方体に準ずるモチーフ】ブロック・枡	講義・実習	
第5回	【球体・応用】オーナメント	講義・実習	
第6回	【着色】ピーマン 水彩絵の具の特性 混色	講義・実習	デッサン・水彩絵の具セット 用意。 スポットがあれば便利。
第7回	【人物】<モデル>	講義・実習	
第8回	【静物】愛着のあるもの	講義・実習	学校のモチーフ又は 自分の描きたいものを持参。
第9回	続き【静物】愛着のあるもの	講義・実習	前の週に続き 学校のモチーフ又は自分の 描きたいものを用意。
第10回	【細密】サザエ	講義・実習	
第11回	続き【細密】サザエ	講義・実習	
第12回	【石膏】	講義・実習	

第13回	続き【石膏】	講義・実習	
第14回	<p>課題解決型授業①</p> <p>【人物:クロッキー】</p> <p>人物(着服で可)をクロッキー。10体以上。 体の関節やつくり、比率を意識。ある程度描き慣れておく事。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族 ・自身(鏡) 	<p>遠隔授業</p> <p>実施時期:5期(11/1-11/15)</p>	
第15回	<p>課題解決型授業②</p> <p>続き【風景スケッチ】</p> <p>陰影、色味が分かる様に。しっかり描き込み完成させる。 手前、奥の空間意識。</p>	<p>遠隔授業</p> <p>実施時期:7期(12/1-12/15)</p>	